

5月になりました。

ゴールデンウィークの3日目です。普段なら渋滞情報や行楽地の賑わいなどのニュースで賑わう所ではありますが、今年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）罹患拡散予防の為「非常事態宣言が発声」行動指針として「Stay Home 週間」となりました。それにより、帰郷する方には「どうして今ですか？」問われ、サーフィンが趣味の人は「陸サーファーにして」と哀願され、賭博ではない？パチンコ店前に連なる人々は「ほとんど非常識な厄介者」です。正直、私もニュースを見て「あらあら！コラコラ！」と思わない訳ではありません。そんな方がいる一方、医療福祉関係者の方や市民を励ます様な動画をせっせとUPし続ける方、更に「終息方法を熱く語る人また反対の意見を力説している方々もおられます。普段のGWでは帰郷者は「親孝行なご一家」サーファーは黒く日焼けした白い歯のナイスガイ。パチンコはちょっと別格かもしれませんが・・・たぶん、普通の人達だと思います。ですが・・・同じ「宣言」や「注意」を聞き、内容も理解しているのに関わらず、選択した行動がなぜこれだけ違ってくるのでしょうか？

この雑感に度々登場する「私」は「食べ物でも勉強でも好き嫌いが多く手がかかる子」つまり「わがまま」な子でした（です。です！）母からは「我慢しなさい」と度々叱責受けておりました。そんな時父が家から連れだし、お散歩しながら私に言う事は「Kはわがままなではないと思うよ自由な子なんだよ。自分の思いや考えを言ったり行ったりする事は決して悪いだけじゃないよ」と・・・私は「してやったり！」と思うのでした。ですが、父の言葉は続きがありました。「でもね！自由つまり、自分の好きな様にする前には、しっかり筋道を立てた考えをまとめ、その理由を自分の言葉で言える様にしておこうね。そうすれば〇〇は決してわがままな子ではないから・・・」と「うん????」「なんだか、自由って面倒だね。」と言うと今度は父は少し怒った口調で「自由は大切にしなきゃいけない。なんでも素直に言われた通りにしかできない子は、パパは好きじゃないな！」と・・・{エツ・・・うーん????}こんな真反対な両親に育てられ禅問答の様な会話は、当然幼い私には理解できない所です。よって通信簿には「授業中でも落ち着きがなく、口数が多い所が見受けられます。行動では正義感が強く、積極性が見られます。といいんだか？悪いんだか分らない人物像が記載されるに至ります。

成り行き任せで、自分の考えに固執し間違いに気が付かず、またそれも認めずに行動する事はやはり良くない。私にもその位はわかりかけています。ですが、そう思う反面、自由な活動を忍耐し（耐え忍ぶって大っ嫌いです）生活しなければいけないなんて世の中は私のご免です！絶対に・・・サーどうしましょうか？そして思いました。「アーツまんない退屈だ！」思ったら・・・ちょっと周りを見て自分で考えて、自分にしっかり確認をとってから行動したらどうかしら？人それぞれだけど・・・きっと少しは何かスッキリするかもしれないと思うんだけど・・・

パチンコ屋さんの前のおじさんと浜辺の若者が期せずして同じ事を言っていました
「いっそ禁止にしてくれたら、やらない。来ないよ」と？・・・アラアラ貴方は「素直なよい子？」
小さい時に常にわがままな子と言われ続けている私には、この方々の素直さにびっくり！

「良い子・悪い子・普通の子」・・・あなたはどの子？

ハァー・色々面倒な事が続きそうな予感がします・・・と思いつつ
そんな令和2年5月 差し入れの自家製サクランボと共に

